

決済動向

— 平成7年1月 —

(平成7年3月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

1月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比+3.0%）、金額ベースでは329.1兆円（同+0.3%）となった（6年1月17日の内国為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は+2.1%）。金額の内訳をみると、当座預金振替等は309.2兆円（前年比+2.5%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は13.4兆円（同△33.3%）となった（従来ベースで試算した民間の集中決済制度に係る資金決済は前年比△2.1%）。

1月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.1万件（前年比+5.9%）、金額ベースで108.0兆円（同△15.6%）となった。

また、日本銀行における振決国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.3万件（前年比+0.2%）、金額ベースで134.6兆円（同△20.5%）となった。

1月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで48.5万件（前年比+1.8%）、金額ベースで3.9兆円（同△6.3%）となった。

1月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高10.3兆円（前年比△7.2%）、支払高5.0兆円（同△9.9%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、1月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは48.3万枚（前年比+0.8%）、金額ベースでは5.5兆円（同△49.9%）となった。

1月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは362.3万件（前年比+10.8%）、金額ベースでは8.0兆円（同+10.1%）となった。

1月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.4万件（前年比+20.0%）、金額ベースでは32.4兆円（同+17.7%）となった。

3. その他

1月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は19.4万契約（前年比+5.8%）、月末の建玉数量は131.5万契約（同+12.2%）となった。

1月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）は173.3万件（前年比+5.9%）となった。

(信用機構局)